

早稲田大学 社会科学部
2020 年度 入試問題の訂正内容

＜社会科学部 一般入試＞

【日本史】

●問題冊子 3 ページ：設問Ⅰ 問 9 選択肢ホ

(誤)

～農村が再興が図られた。

(正)

～農村の再興が図られた。

●問題冊子 9 ページ：設問Ⅳ 問 2

選択肢に正解として扱うことができるものが複数ありましたので、そのいずれを選択した場合も得点を与えることといたします。

以上

2020年度
日 本 史
(問 題)

〈R02140018〉

注 意 事 項

1. 試験開始の指示があるまで、問題冊子および解答用紙には手を触れないこと。
2. 問題は2～11ページに記載されている。試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚損等に気付いた場合は、手を挙げて監督員に知らせること。
3. 解答はすべて、HBの黒鉛筆またはHBのシャープペンシルで記入すること。
4. マーク解答用紙記入上の注意
 - (1) 印刷されている受験番号が、自分の受験番号と一致していることを確認したうえで、試験開始後、氏名欄に氏名を正確に丁寧に記入すること。
 - (2) マーク欄には、はっきりとマークすること。また、訂正する場合は、消しゴムで丁寧に、消し残しがないようによく消すこと（砂消しゴムは使用しないこと）。

マークする時	 良い	 悪い	 悪い
マークを消す時	 良い	 悪い	 悪い

5. 解答はすべて所定の解答欄に記入すること。所定欄以外に何かを記入した解答用紙は採点の対象外となる場合がある。
6. 試験終了の指示が出たら、すぐに解答をやめ、筆記用具を置き解答用紙を裏返しにすること。
7. いかなる場合でも、解答用紙は必ず提出すること。
8. 試験終了後、問題冊子は持ち帰ること。

I

次の文章を読み、問1～10に答えよ。

弥生時代までには農耕社会が成立し、蓄積された余剰生産物をめぐって戦いが起こり、各地に小国が分立し始めた。その後、5世紀後半から6世紀にかけて、ヤマト政権は関東地方から九州中部までの地域を支配するようになった。

7世紀中頃には改新の詔が出され、公地公民制への移行を目指す政策方針が示された。8世紀にはいり大宝律令が⁽³⁾つ⁽²⁾くられ、財政安定のため様々な政策によって農地の拡大を目指した。しかし、8世紀後半からは農民の浮浪・逃亡や偽籍が増えるなどにより、班田収授の実施が困難になった。この状況に対して9世紀後半から10世紀前半にかけて、国司の最上位者に大きな権限を与え責任を負わせ、税を取り立てるようにした。こうして徴税の対象は人から土地へと変わっていった。

その後、10世紀後半から現れ始めた寄進地系荘園と公領とが両立するようになり、平安時代、鎌倉時代、さらには室町幕府が成立しても、地方では荘園と公領がその性質や支配者をかえながらも並存する時代が続いた。⁽⁴⁾⁽⁵⁾⁽⁶⁾そして応仁の乱やその後に続いた争乱により室町幕府の体制が崩壊し、また荘園制の解体も進んだ。江戸時代には、大名の領地とその支配機構である藩と幕府からなる幕藩体制が完成した。

また地方では農民たちによる自立的・自治的な惣村が、鎌倉時代後期に近畿地方やその周辺で自然発生的に生まれ、南北朝の動乱の中でしだいに各地に広がっていった。⁽⁸⁾権力者がかわっても村は農民たちによって存続していたが、18世紀頃になると、村の中で変化が起き始め、その変化は幕藩体制に徐々にではあるがインパクトを与えた。⁽⁹⁾

明治新政府により、版籍奉還や廃藩置県が断行され、その後市制・町村制および府県制・郡制が制定され、新たな地方自治に関する制度がスタートした。⁽¹⁰⁾⁽¹¹⁾第二次世界大戦後には地方自治法が成立し、その後は昭和の市町村合併、平成の市町村合併を経て今に至っている。

問1 下線部(1)に関連する記述として、不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 国造に任じられた地方豪族は、その地方の支配権をヤマト政権から認められた。
- ロ 地方豪族は大王に舎人・采女を出仕させた。
- ハ 磐井の乱が制圧された。
- ニ 地方豪族は屯倉を設けた。
- ホ 地方豪族は名代・子代の部を管理した。

問2 下線部(2)と(3)の間の出来事として、その内容が不適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ 地方に設置された評には、中央から官人が派遣された。
- ロ 八色の姓が定められた。
- ハ 富本銭が鑄造された。
- ニ 天武天皇は庚寅年籍を作成した。
- ホ 50戸を単位とする里がつけられた。

問3 下線部(3)より後に起こった出来事として、不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 郡司には伝統的な地方豪族が任じられた。
- ロ 出羽国がおかれた。
- ハ 大野城が築かれた。
- ニ 郡家には正倉がおかれた。
- ホ 人民を戸籍・計帳に登録した。

問4 下線部（4）に関連する記述として、不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 田堵は権利を強めて名主とよばれるようになった。
- ロ 国免荘は朝廷から税の免除を認められた荘園である。
- ハ 開発領主は所領を有力者に荘園として寄進し、みずからは荘官となった。
- ニ 寄進を受けた有力者を領家という。
- ホ 多くの荘園を所有した大寺院は僧兵を組織して、朝廷に強訴した。

問5 下線部（5）に関連する記述として、不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 国司は公領内を郡・郷・保に再編成した。
- ロ 郡家に田所・税所を整備した。
- ハ 遙任とは、国司が現地に赴任せず収入のみを受け取ることである。
- ニ 成功は売官の一種である。
- ホ 上級の貴族の中には知行国主として公領から収益を得たものもいた。

問6 下線部（6）に関連して、鎌倉時代の地方に関する記述として、不適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ 源頼朝によって守護と地頭がはじめて任命された。
- ロ 守護の任務は大犯三ヶ条とよばれた。
- ハ 関東御領は源頼朝が支配した荘園である。
- ニ 守護には半済令の権限が与えられた。
- ホ 地頭は当初、平家没官領などの没収された荘園や公領におかれた。

問7 下線部（7）に関連して、室町時代の守護に関する記述として、不適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ 守護は有力な奉公衆から任命された。
- ロ 守護には刈田狼藉を取り締まる権限が与えられた。
- ハ 領国は守護代に統治させることが多かった。
- ニ 守護は段銭・棟別銭を徴収する権限を持った。
- ホ 守護請の収入は新補率法によって定められた。

問8 下線部（8）に関連する記述として、不適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ 村は指導者層であるおとな・沙汰人を中心として運営された。
- ロ 村民の会議を宮座とよんだ。
- ハ 地下検断は、村民が自ら警察権を行使することである。
- ニ 村民は国人一揆を結び、代官の罷免や年貢の減免を求めた。
- ホ 村の有力者には守護などと主従関係を結んで地侍になるものもいた。

問9 下線部（9）に関連する記述として、不適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ 農民に格差が生じて、豪農と貧農や小作人に分かれていった。
- ロ 村の代表者が農民を代表して直訴する村方騒動が増加した。
- ハ 地主手作とは、地主が年季奉公人などを使う経営である。
- ニ 生活に窮した農民の中には潰れ百姓となって都市へ流入したものもいた。
- ホ 寛政の改革では人返しの法により農村が再興が図られた。

問10 下線部(10)および(11)に関連する記述として、不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 版籍奉還で、藩兵は解散させられた。
- ロ 廃藩置県で、知藩事は廃止された。
- ハ 市制・町村制では、人口25,000人以上の都市を市とした。
- ニ 府県会議員は、郡会議員の投票による間接選挙で選ばれた。
- ホ 市長は、内務大臣が任命した。

Ⅱ 次の文章を読み、問1～10に答えよ。

古来、日本において交通は、政治・軍事・産業・通信の展開や発達と連動しながら、人・物・情報の移動を媒介してきた。

奈良時代には、中央政府による地方統治の広まりとともに、畿内から国府へのびる⁽¹⁾官道⁽²⁾や、郡家などを結ぶ伝路などの道路網が整備された。

中世の武士政権の時代になると、政権の経済的基盤としての貿易航路⁽³⁾が重視されたほか、手工業・商業の発展にともない遠隔地との取引も盛んになった。海・川・陸の交通路が発達して交通の要所が生まれ、運輸にともなう経済活動⁽⁴⁾が活発化した。こうした遠隔地商業は戦国時代においても継続し、港町や宿場町が繁栄した。

江戸時代には、幕府によって、江戸・大坂・京都を中心に各地の城下町を結ぶ全国的な街道網⁽⁵⁾が完成した。こうした街道は参勤交代や商業荷物の運搬だけでなく、一般庶民の旅行や、情報伝達のための通信経路⁽⁶⁾としても使用された。また、水上交通が大きく発達したことも江戸時代の特徴である⁽⁷⁾。

明治時代に入ると、関所や宿駅・助郷制度が撤廃され、また鉄道・郵便・電信の登場により交通・通信は画期的変化⁽⁸⁾をとげた⁽⁹⁾。さらに、第二次世界大戦後の高度成長期における交通手段の多様化と発達⁽¹⁰⁾は、現代の移動・流通の基盤を形成した。

問1 下線部(1)に関連する記述として、不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 駅路には約16kmごとに駅家が設けられ、おもに官人の公用に利用された。
- ロ 天皇への食料貢進制度(贄)の実態が、都跡などで発見された木簡によって明らかになっている。
- ハ 律令国家は、東北地方の人びとを蝦夷とよび、淳足柵を築いて統治拠点とした。
- ニ 太平洋側に築かれた磐舟柵は、陸奥の政治の拠点となった。
- ホ 隼人とよばれた南九州の人びとに対して、薩摩国・大隅国がおかれ、種子島や屋久島も行政区画化された。

問2 下線部(2)に関連して、古代の七道駅路とその律令制度上の位置づけの組み合わせとして適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ 東山道一大路
- ロ 東海道一中路
- ハ 山陰道一中路
- ニ 南海道一中路
- ホ 山陽道一大路

問3 下線部（3）に関連して、大輪田泊があった場所の現在の都市名、日宋貿易における日本からの輸出品、日本への輸入品の組み合わせとして適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 都市名：大阪市 輸出品：刀剣 輸入品：書籍
- ロ 都市名：大阪市 輸出品：漆器 輸入品：薬品
- ハ 都市名：大阪市 輸出品：金 輸入品：香料
- ニ 都市名：神戸市 輸出品：扇 輸入品：硫黄
- ホ 都市名：神戸市 輸出品：水銀 輸入品：陶磁器

問4 下線部（4）に関連する記述として、不適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ 各地の湊には、商品の中継・委託販売・運送を請け負う問（問丸）が発達した。
- ロ 尚巴志がつくりあげた琉球王国の外港今帰仁は、東アジア諸国間の中継貿易拠点となった。
- ハ 14世紀には、畿内と津軽の十三湊を結ぶ日本海交易によって、サケや昆布が京都にもたらされた。
- ニ 京都などの大都市や大津などの交通の要地に問屋が成立し、京都への輸送路では伝馬役とよばれる運送業者も活躍した。
- ホ 運輸の増加に着目した幕府や寺社が交通の要地に関所を設けて金銭を徴収したため、交通の大きな障害となった。

問5 下線部（5）に関連する記述として、不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 三都を中心とする東海道などの五街道は幕府の直轄であり、道中奉行によって管理された。
- ロ 脇往還ともよばれた脇街道には、北国街道や長崎街道などがある。
- ハ 街道には宿場がおかれ、箱根・碓氷・木曾福島・小仏などに関所が設けられた。
- ニ 長距離運送の増大とともに、遠隔地を結ぶ馬車が発達した。
- ホ 陸上交通では幕府や大名らの御用通行が最優先とされ、宿駅には移動に使用される人足や馬がおかれた。

問6 下線部（6）に関連して、次の5つの項目のうち、江戸時代の飛脚が運んだ荷物や情報として適切なものはいくつあるか。1つ選べ。

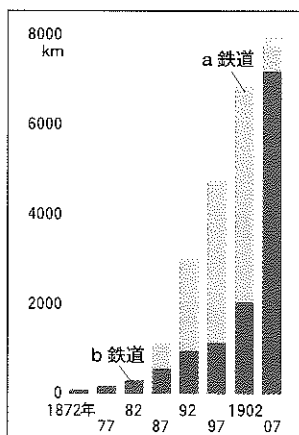
項目：書状、金銀、幕府の法令、商品の相場、海外の情報

- イ 1つ ロ 2つ ハ 3つ ニ 4つ ホ 5つ

問7 下線部（7）に関連する記述として、不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 角倉了以は、富士川・鴨川を整備し、また高瀬川などの水路を開削した。
- ロ 陸上交通と舟運を結ぶ拠点として、河岸とよばれる港町がつくられた。
- ハ 河村瑞賢は、東北地方からの年貢米を江戸や大坂に回送するため、おもに日本海側に行く西廻り航路とおもに太平洋側に行く東廻り航路を整備した。
- ニ 大坂・江戸間では、木綿や油を運ぶ樽廻船とおもに酒を運ぶ菱垣廻船が競争を繰り広げ、やがて菱垣廻船が優位に立った。
- ホ 日本海の北前船や尾張の内海船など、遠隔地を結ぶ廻船が発達した。

- 問8 下線部（8）に関連して、以下のグラフは国有鉄道と民営鉄道の割合別営業キロ数の推移を示したものである。
- a, bはそれぞれ国有・民営のいずれかを表している。1902年と1907年の間で起こった変化の理由として最も適切なものはどれか。1つ選べ。

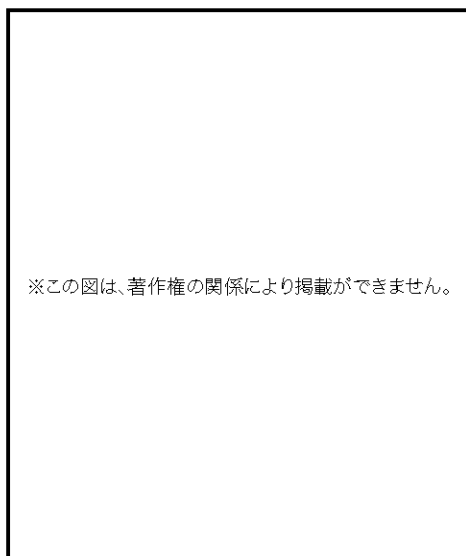


- イ 鉄道国有法の制定
- ロ 日本鉄道会社の成功
- ハ 官営の東海道線の全通
- ニ 商人や地主らによる鉄道会社設立ブーム
- ホ 上野・青森間の鉄道全通

- 問9 下線部（9）に関連する記述として、不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 東京では鉄道網の広がりにともない、明治末期には電車による通勤も行われていた。
- ロ 前島密の建議により官営郵便制度が東京・神戸間で発足し、まもなく全国一律料金による郵便網が発達した。
- ハ 電信線は東京・横浜間に最初に架設され、後に長崎と北海道まで延ばされた。
- ニ 電話は1877年に米国から輸入され、1900年には上野と新橋に公衆電話が設置された。
- ホ 明治政府は、軍事・経済上の理由で三菱に手厚い保護を加え、海運業を援助した。

- 問10 下線部（10）に関連して、以下のグラフは1950年から1975年の輸送機関別国内旅客輸送分担率の推移を示したものである。6本の折れ線は、それぞれ乗用車、国鉄、民鉄、航空、バス、旅客船のいずれかを表している。折れ線aに該当する輸送機関はどれか。1つ選べ。



- イ バス
- ロ 民鉄
- ハ 国鉄
- ニ 旅客船
- ホ 乗用車

Ⅲ 次の文章を読み、問1～10に答えよ。

疫病や飢饉などの社会不安に対して、聖武天皇は鎮護国家思想によって国家の安定を図ろうとした。737年の疫病では、藤原家の人々を含め、多くの人命が失われた。⁽¹⁾

1181年の飢饉は、平氏に大きな打撃を与えた。1231年の飢饉の際には、社会不安による紛争が増加し、元号は寛喜から貞永に改められた。⁽²⁾『百練抄』には「去年飢饉に依る」と記されており、この改元は飢饉を理由とするものとみられる。⁽³⁾15世紀後半の大飢饉では、京都に流入した難民の餓死者は8万人以上に達したとされる。⁽⁴⁾

江戸時代にも大飢饉の発生は続いた。⁽⁵⁾1641年～1642年の飢饉では、5万～10万人が餓死し、幕府・諸藩の農政に大きな影響を与えた。⁽⁶⁾幕府は、百姓の小経営を安定させ、一方で貨幣経済にあまり巻き込まれないように配慮し、年貢・諸役を確実に徴収しようとした。

火山噴火が飢饉のきっかけとなることもあった。特に浅間山の大噴火や宝永の富士山大噴火は、各地に大きな被害をもたらした。⁽⁷⁾

古代以来、地震もたびたび甚大な被害をもたらし、その記録は、その時代の社会状況とともに、日記、随筆などの史料に残されている。貞永の改元以外にも、地震やその他の天変地異などを機に改元されることがあった。⁽⁸⁾

明応の地震では壊滅する港もあり、安政年間の数回の地震では、数千人の死者が出ている。1923年の関東大震災は、さらに大きな被害・損害をもたらした。⁽⁹⁾政策的対応が急務となった。⁽¹⁰⁾

問1 下線部(1)に関連する記述として、不適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ 聖武天皇は、知識寺の盧舎那仏を拝んだことが契機となり、大仏造立を思い立った。
- ロ 盧舎那仏は法華経の本尊である。
- ハ 国分尼寺には20人の尼僧をおくものとされた。
- ニ 全国的な国分寺・国分尼寺建立は難航し、地方豪族の協力が求められた。
- ホ 近江の紫香楽宮で大仏造立の詔が出された。

問2 下線部(2)に関連して、この疫病で命を失ったのは誰か。2人選べ。

- イ 藤原広嗣 ロ 藤原仲麻呂 ハ 藤原宇合 ニ 藤原麻呂 ホ 藤原不比等

問3 下線部(3)に関連して、以仁王を奉じて平氏打倒のため挙兵したのは誰か。1人選べ。

- イ 源義親 ロ 源為義 ハ 源範頼 ニ 源頼義 ホ 源頼政

問4 下線部(4)に関連して、この改元の時の執権は誰か。1人選べ。

- イ 北条義時 ロ 北条泰時 ハ 北条経時 ニ 北条時頼 ホ 北条時宗

問5 下線部(5)に関連して、江戸時代の大飢饉に関する記述①～③を年代順に古いものから正しく並べたものはどれか。1つ選べ。

- ① 冷害や浅間山大噴火を経て、東北地方中心に多数の餓死者を出した。
- ② 収穫量が例年の半分以下の凶作となり、全国的な米不足となった。
- ③ 西日本一帯でいなごやうんかが大量発生したことから大凶作となり、全国的な飢饉となった。

- イ ①→③→② ロ ②→①→③ ハ ②→③→①
- ニ ③→①→② ホ ③→②→①

問6 下線部（6）の飢饉に対する施策として、不適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ 百姓の夫役を制限させた。
- ロ 元文金銀を発行した。
- ハ 菜種の栽培を制限した。
- ニ 分地制限令を出した。
- ホ 旧里帰農令を出した。

問7 下線部（7）に関連する記述として、適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ 駿河・相模などの国々に降砂による大被害をもたらした。
- ロ 江戸や大坂など各地の都市で激しい打ちこわしが発生した。
- ハ 全国で数多くの百姓一揆が起こった。
- ニ 約49万両の国役金が幕府に上納された。
- ホ 金の含有率を引き下げた正徳小判が発行された。

問8 下線部（8）に関連して、17世紀のある史料（史料の表記は一部改変）には、「改元は、漢朝年号の内、吉例を以て相定むべし」と記されている。これと同一の史料に含まれていないものはどれか。2つ選べ。

- イ 「武家の官位は、公家当官の外為るべき事」
- ロ 「五百石以上の船停止の事」
- ハ 「天子諸芸能の事、第一御学問也」
- ニ 「紫衣の寺、住持職、先規希有の事也」
- ホ 「文武弓馬の道、専ら相嗜むべき事」

問9 下線部（9）に関連する記述として、不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 陸軍被服廠跡に避難した被災者約4万人が焼死した。
- ロ 約57万戸の家屋が、全壊・流失・全焼した。
- ハ 被害総額は60億円をこえた。
- ニ 亀戸警察署内で社会主義者10名が警官に殺害された。
- ホ 大杉栄、その内縁の妻、大杉の甥が憲兵に殺害された。

問10 下線部（10）に関連して、関東大震災後に実施されたこととして、不適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ 戒厳令が出された。
- ロ 同潤会が設立された。
- ハ 借家法が制定された。
- ニ 市街地建築物法が制定された。
- ホ 治安維持法が制定された。

Ⅳ 次の【史料A】【史料B】を読み、問1～10に答えよ（史料は一部改変）。

【史料A】

(1) わが委任統治領たる南洋庁管下の群島のことを、日本では内南洋と称しているが、これに対して外南洋という言葉がある。外南洋というと、大体に昔から南蛮といわれた地方、すなわちアジアの東南部に当たるタイ、仏印、英領マレー、英領ボルネオ、フィリピン、蘭印、およびポルトガル領ティモールの諸地域を総称する場合が多い。⁽²⁾

戦時経済にとって、何が一番必要な資源かというに、⁽³⁾石炭か鉄か石油にまず誰しも想到するであろう。石炭はともかく、鉄と石油が、我国において自給力をもたない現状にあることは、誠に重大関心事とすべきである。すなわち我国において、鉄は平時朝鮮を含めて漸く二〇％の国内生産、石油はそれより少ないくらいであろう。今日の如き戦時の場合は、その率がぐんと下がっているわけである。

(4) 事変前の昭和十一年について見るに、鉄鉱だけで三百七十八万トンの輸入があつて、そのほとんど八〇％までが支那と英領マレーに依存していた。支那の鉄鉱というのは、揚子江沿岸の⁽⁵⁾大冶鉄山から掘り出されたもので、これは随分古くから我国の利権となっている。

鉄よりも問題は石油である。やはり昭和十一年の統計についていえば、石油輸入の最大数量は **A** からの八億七百万ガロン、次が **B** の二億六千万ガロン、ボルネオ六千二百万ガロンという順位でその六四％は **A** に依存した。この **A** の石油が日本の手に入らないということになれば、勢い我国は **B** の石油を何としても確保せねばならないのである。

(永丘智太郎「日本は何故南進するか」(1941年10月))
⁽⁶⁾

【史料B】

我国鉱産資源の実情を見れば、その生産額は海外輸出可能のものが乏しきのみならず、国内消費すら不足を告ぐる状態である。すなわち銅、石炭、硫黄等は多量の産出があるけれども、昭和九年度の実例を見れば、日本における銅需要量の七割に達する銅塊を、海外より輸入した状態である。硫黄に至りては自給自足がようやく可能で、多少の輸出を見るに過ぎぬ。⁽⁷⁾その他の非鉄金属においても、わずかにマグネシウム、タングステンなどを例外として、多きものは需要のほとんど全部を、⁽⁸⁾少なきものでもその半を輸入に俟つ状態である。

(南洋協会『南洋鉱産資源』(1940年))

問1 【史料A】下線部(1)の委任統治権を日本が獲得する根拠となったものはどれか。1つ選べ。

- イ ヴェルサイユ条約 ロ 九カ国条約 ハ 日英同盟協約
ニ 石井・ランシング協定 ホ 四カ国条約

問2 【史料A】下線部(2)のうち、真珠湾攻撃と同日に日本陸軍が上陸した地域はどこか。1つ選べ。

- イ タイ ロ 仏印 ハ 英領マレー ニ 英領ボルネオ ホ フィリピン

問3 【史料A】下線部(2)の地域の太平洋戦争終結後の状況に関する記述として、不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ インドネシアは独立を宣言した。
ロ ベトナムは独立を宣言した。
ハ フィリピンと日本との間では賠償協定が結ばれた。
ニ インドネシアと日本との間では平和条約が締結された。
ホ タイと日本の間では賠償協定が結ばれた。

問4 【史料A】下線部（3）に関連する記述として、不適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ 高島・三池炭鉱は明治政府に接収されて官営化され、後に払い下げられた。
- ロ 南満州鉄道株式会社によって撫順炭鉱の経営が行われた。
- ハ 徳永直の『太陽のない街』は炭鉱での労働争議を題材にした作品である。
- ニ 第1次吉田茂内閣時に傾斜生産方式の対象となった。
- ホ 芦田均内閣は炭鉱国家管理問題が契機となって退陣した。

問5 【史料A】下線部（4）の事象の発生後に起こった出来事として適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ 関東軍による華北分離工作
- ロ 日独防共協定の締結
- ハ 中国共産党軍の長征
- ニ 南京における新国民政府の樹立
- ホ 張鼓峰事件

問6 【史料A】下線部（5）に関連する日中合併事業の承認を日本政府が要請した文書と同一の文書に含まれる記述はどれか。1つ選べ。

- イ 「合衆国政府ハ日本国カ支那ニ於テ特殊ノ利益ヲ有スルコトヲ承認ス」
- ロ 「支那国政府ハ、本条約付属書ニ列記セル南満洲及東部内蒙古ニ於ケル諸鉱山ノ採掘権ヲ日本国臣民ニ許与ス」
- ハ 「両締約国ハ相互ニ清国及韓国ノ独立ヲ承認シタルヲ以テ、該二国孰レニ於テモ全然侵略的趨向ニ制セラルルコトナキヲ声明ス」
- ニ 「清国ハ左記ノ土地ノ主権並ニ該地方ニ在ル城堡、兵器製造所及官有物ヲ永遠日本国ニ割与ス」
- ホ 「支那国以外ノ締約国ハ左ノ通約定ス（中略）
（三）支那ノ領土ヲ通シテ一切ノ国民ノ商業及工業ニ対スル機会均等主義ヲ有効ニ樹立維持スル為各尽力スルコト」

問7 【史料A】空欄

A

、

B

 に当てはまる語の組み合わせとして適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 北部仏印—アメリカ ロ アメリカ—北部仏印 ハ アメリカ—蘭印
- ニ 支那—蘭印 ホ 支那—北部仏印

問8 【史料A】下線部（6）に関連して、太平洋戦争中に日本軍が占領・制圧した地域として不適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ ビルマ ロ ハワイ ハ 香港 ニ シンガポール ホ セイロン

問9 【史料B】下線部（7）に関連する記述として、不適切なものはどれか。2つ選べ。

- イ 江戸時代には、別子銅山や阿仁銅山が鉱山町を形成した。
- ロ 国外への流出を防ぐため、海舶互市新例により長崎貿易での輸出が禁じられた。
- ハ 出沼時代には幕府による専売の対象とされた。
- ニ 足尾銅山は、工部省発足にともない官営化され、後に古河に払い下げられた。
- ホ 足尾銅毒事件発生当時、銅は主要な輸出品の一つであった。

問10 【史料B】下線部（8）に関連して、石見銀山に関する記述として、不適切なものはどれか。1つ選べ。

- イ 戦国時代には戦国大名による争奪戦がくり広げられた。
- ロ 博多商人の神屋寿禎により朝鮮から灰吹法が伝えられ、銀の産出量が増大した。
- ハ 江戸時代の主要な銀山としては、石見のほかに但馬生野や院内がある。
- ニ 明治期に官営化され、後に三菱に払い下げられた。
- ホ 南蛮貿易で輸出された銀の主要な産地となった。

〔以 下 余 白〕